

令和元年度墨田区立東吾嬬小学校経営報告書

令和2年3月12日

学 校 目 標	まな ゆう ゆう 学 び 友 遊
目 指 す 学 校 像	○子供たちが誇れる学校 ○保護者に信頼される学校 ○地域とともにある学校 ○教職員が生き生きとした学校
目 指 す 子 供 像	○学びが好き 自分で考え、行動できる子 ○友だちが好き 思いやりがあり、人の気持ちが分かる子 ○遊びが好き 明るく元気で素直な子
目 指 す 教 師 像	広い視野と高い指導力をもち、常に子供と向き合える教師

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
各教科等指導	学校は、子供に確かな学力を育てるために、分かりやすい授業の実施に努めているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「区ふり返しシート」「東京ベーシックドリル」を活用し、基礎基本の定着を図る。 ・週5回の放課後学習教室を充実させ、学力の底上げを図る。 ・NT・CTが十分に連携し、新学習指導要領を見据えて外国語教育の充実に努める。 	A	A
	学校は、特別な支援を必要とする子供に対して、組織的に適切な支援を行っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回の特別支援委員会を中心にスクールカウンセラー、特別支援教室専門員を活用した支援を行う。 ・児童の実態に応じて学習支援指導員を配置し、個に応じた指導を行う。 	B	A
	学校は、子供の将来の自立に向けた教育活動・相談活動に取り組んでいるか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを表現できる児童を、集会等を活用し育成する ・たてわり班活動や幼保小中連携活動で、自分の立場に合った行動をとれるようにする。 ・地域人材を生かした授業を推進し、地域から学び、地域の一員としての自覚をもった児童を育成する。 	B	A
	学校は、教員の指導力・授業力を高めるために組織的に取り組んでいるか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研究において「主体的に思考する児童の育成（学び合い活動の推進）」を研究テーマとして、教科等横断的な指導を通じた思考力の育成を目指す。年7回の研究授業実施。「区特色ある学校づくり推進校」として、その取組を発表する。 ・全教職員が自主研修の講師役になり、各自が保有している専門的な研修や実践の成果を共有し、授業力向上に生かす。 	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等		<ul style="list-style-type: none"> ・本校の学力が高まっているのが素晴らしい。教職員の指導の賜物である。放課後や夏季休業中の補習も継続し、個々の学力を向上させてほしい。 ・各学年とも、学級担任と児童の関係が良く、授業の様子が微笑ましい。隣同士に教室配置されている1年生と6年生の良さも伝わった。 ・学校図書館司書が子供たちに推薦図書を紹介し、これまで以上に熱心に読書していると聞く。高学年による読み聞かせも、読書意欲を高めている。継続してほしい。 		

様式 4

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
生活指導等	学校は、子供の問題行動の予防や解決に組織的に取り組んでいるか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 生活指導主任を中心に、毎月部会を行い確認する。 いじめ防止授業を年3回実施する。SNSルールをはじめ基本方針の内容を指導徹底し、「いじめをしない・させない・許さない」心情や態度をはぐくむ。 	B	A
	学校は、子供が基本的な生活習慣を身に付け、望ましい人間関係を作るための心の教育を行っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 道徳授業、人権教育の授業や講演会を実施する。全教職員が人権研修に年1回以上参加し、人権感覚を磨かせる。 「特別の教科・道徳」により、道徳的価値を自分ごととして理解し、道徳教育の充実を図る。 年2回の「挨拶運動」と「生活リズムチェック」により基本的生活習慣の徹底を図る。 	B	A
	学校は、子供の安全を確保するための取組を行っているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> 毎月の安全点検、研修会実施（特に食物アレルギー対応）により危機管理意識の高揚を図る。 外部機関との定期的な情報交換を実施し、犯罪被害未然防止に努める。 	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等		<ul style="list-style-type: none"> 挨拶運動と一緒に参加した。縦割り班ごとに差はあるが、全体的に声が良く出ていて微笑ましかった。「挨拶週間」や「挨拶マイスター」の取組を継続し、定着を図ってほしい。 校庭改修時は、登下校が安全に行われていた。夏季水泳や補習教室時も児童の動線を工夫し、安全確保に努めていて良かった。 学校での防災教育の様子が分かった。都教委から配布されている「東京マイタイムライン」を活用し、保護者とともに安全意識を高めさせている。 今年度は一斉防災訓練を5月に実施し、年度始めの早い時期、保護者が来校しやすい土曜日に引き取り訓練を行い、残留児童も減少して良かった。 1年生で朝食を毎日食べていない児童がいるのが気になった。 		

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
学校の管理運営	学校は、管理職の経営方針をもとに、組織的な教育活動・学校運営を行っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 経営方針を共有化し、会議等の効率化を図る。 体罰の根絶をはじめ、服務等の規律を正し、適正な管理運営を図る。 より質の高い教育活動が行えるよう、在校時間の適切な把握と教職員の意識改革を推進し、職場環境を整える「働き方改革」に努める。 	B	B
	学校は、子供の実態に合わせた具体的な目標の設定及び評価を適切に行っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 算数少数指導において、評価規準を明確にして適切に評価する。 自分や相手の考えを大切にす言語活動を取り入れた授業実践を全員が行う。 	B	A
	学校には、適切な教育活動が行える環境・設備等が整えられているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> 全教員がICT機器を活用した授業を毎時間行う。 安全を第一に考え、環境整備を進める。 	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等		<ul style="list-style-type: none"> 授業参観してICT機器が充実し、教職員がよく活用していることが分かった。教職員がその良さを享受できるよう、研修で指導スキルを身に付け、日常で使用して慣れていってほしい。 児童の机椅子の脚にテニスボールが付けられていた。余計な音を出さないという学校全体の環境作りを感じた。 今の子供たちは全般に器用な印象でそつなく取り組み素晴らしい。学校教育の中で得意なことを見付け、可能性を伸ばしてほしい。 食べ物を大切にする意識を高めてほしい。食品ロスを生まない工夫を考えてほしい。 新校庭に実際に入って見て、クッションの様子がよく分かった。安全に使用できるよう、児童への校庭利用の仕方を指導してほしい。 児童の体力は、昔に比べると低下している。本日参観した縄跳びのような取組を継続し、体力向上につなげてほしい。 		

様式 4

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
家庭・地域連携	学校は、教育方針や日常の教育活動の様子などを分かりやすく伝えているか。	A	・学校だより、情報連絡メール、ホームページ等を活用し、常に最新の情報を発信する。	A	A
	学校は、保護者や地域の理解や協力を得て教育活動を進めているか。	B	・道徳授業やいじめ防止授業の地域公開講座をはじめ、学校公開への参加を積極的に働きかける。 ・学校運営連絡協議会を充実させ、地域教育コーディネーターを活用する等より幅広く学校の教育活動について意見を求めるようにする。 ・校庭一部芝生化に伴い、管理運営委員会を立ち上げ、保護者・地域と協働して維持管理を進める。	B	A
	学校関係者評価委員会の意見等		・保護者とともに登校している児童を目にする。今の時代ならではの光景で、地域でも見守りの必要があると感じた。 ・管理運営委員会の内容として、芝刈りが実際の取組となる。夏場は特に生育が早く、こまめな芝刈りが必要になるが、無理のないように進めていきたい。 ・道徳授業地区公開講座講演会での保護者・地域の方の参観が多かった。図書館司書への関心の高さがうかがえた。 ・SNSルールは各家庭の判断によるところが大きく、徹底が不十分であるように感じる。SNSの利用の仕方を保護者にも徹底できる機会があると良い。PTAでも今後イベントを企画し、保護者の気付きを促したい。		

2 令和元年度学校評価のまとめ

<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の学校評価は、昨年度までと同様に、保護者アンケート、学校関係者評価においても良好という評価をいただいた。特に、「分かりやすい授業・組織的な取組」「子供の安全を確保するための取組」「適切な教育活動が行える環境・設備等の整備」「教育活動の分かりやすい広報」において、学校関係者評価は自己評価・改善策とも適切である、との高評価を受けた。 ・本校の喫緊の課題である学力向上に関してはこれまでの状況を高く評価していただきつつも、基礎基本のさらなる徹底が期待されている。補習も含めた児童一人一人に合った支援を今後も継続するとともに、教員の指導力・授業力を高め、主体的に学習に取り組み、積極的に発言できる児童の育成を目指していく。 ・学校の良い取組を今後も積極的に全家庭に伝えていくようにする。学校だより、学校連絡情報メール、ホームページ等を活用し、適切・適時な情報発信を心掛け、地域や保護者との連携をさらに確実なものにしていく。
--

以上の通り報告いたします。

墨田区立東吾嬬小 学校 校長 渡 邊 圭 三

